

当院に入院された患者様へ  
(診療録情報を用いた研究実施のお知らせ)

**研究課題名：多職種チーム介入による身体的拘束最小化への影響**

当院では、上記の研究を実施しております。この研究は、過去に当院に入院されて、身体的拘束が行われた患者様の診療記録(カルテ)を匿名化した上で分析し、身体的拘束最小化を目指した多職種チームの介入が、身体的拘束の最小化に寄与しているかを調べるものです。

本研究へのご自身の情報の利用を希望されない場合は、大変お手数ですが下記の連絡先までお申し出ください。ご連絡がない場合は、ご了承いただいたものとして慎重に取り扱わせていただきます。

研究への情報利用を拒否された場合でも、今後の診療等において患者様が不利益を被ることは一切ございません。

**【研究の詳細】**

**研究の対象となる方**

2024年6月1日から2025年6月30日までの期間に、当院へ入院され、身体的拘束を受けた患者様。

**研究の目的**

身体的拘束を受けている患者様に対して、多職種で構成された身体的拘束最小化チームが介入することにより、患者様の身体的拘束最小化に寄与するのかを明らかにすることを目指しています。この研究で得られた知見が、急性期病棟における身体的拘束率低下戦略のエビデンス構築に資することを期待しております。

**研究の方法・期間**

上記の対象となる患者様の診療記録から、年齢、性別、診療科、入院早期に評価された運動機能、身体的拘束実施の目的、身体的拘束の実施状況といった情報を収集させていただきます。これらの情報を統計的に分析し、多職種チームの介入と身体的拘束最小化との関連を調査します。この研究は、既に診療のために記録されている情報のみを使用するため、患者様に新たにご来院いただいたり、追加の検査やアンケートをお願いしたりすることは一切ございません。また、患者様に費用が発生することもしません。

研究の実施期間は、倫理委員会承認後から2026年3月31日までを予定しております。

**個人情報の取り扱いについて(当院における研究データの取り扱いについて)**

収集させていただく診療記録の情報は、お名前、住所、電話番号など、患者様個人を直接特定できる情報は一切含めません。代わりに、研究用の番号や記号に置き換える作業(匿名化)を行った上で、データとして厳重に管理し、統計的な分析にのみ使用します。この研究は、国が定めた倫理指針(「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等)および当院の倫理規定に基づき、個人情報保護に最大限配慮して実施されます。研究の成果は、学会発表や学術雑誌などで公表されることがありますが、その際も個人が特定できる形で情報が公開されることは一切ありません。

## 研究への参加と拒否について

この研究へのご自身の情報の利用は、患者様の自由意思に基づいています。もし、ご自身の情報がこの研究に利用されることを希望されない場合は、下記の拒否期限までにお申し出ください。お申し出いただいた場合、患者様のデータは研究利用から確実に除外いたします。情報利用を希望されない場合でも、患者様が今後の診療において不利益を被ることは一切ありません。ただし、研究結果が既に論文等で公表されてしまった後など、タイミングによってはお申し出に対応できない場合があることをご了承ください。

## 【お問合せ等について】

この研究に関してご不明な点やご心配なこと、あるいはご自身の情報の利用を希望されない場合は、お手数ですが下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

研究への情報利用に関する拒否の申出期限は **2026年3月31日まで**とさせていただきます。

## 【連絡先】

医療法人讃和会

友愛会病院

〒559-0006 大阪市住之江区浜口西 3-5-10

FAX:06-6672-3692（代表メールアドレス:[soumu@sanwakai.jp](mailto:soumu@sanwakai.jp)）

研究責任者:教育研修部 副部長 大泉 綾亮